

要 旨

本発表は、現代日本語における副詞「せっかく」の本質を追究する研究の一環である。「せっかく」の難解さは、評価性や意志性、叙法性における特異性に起因している。ここでは、「せっかく」と中国語の「特意(tèyì)」、韓国語の「모처림(mocheoreom)」の比較を通じて、三者間の相違点を明らかにすることを目指す。「せっかく」は、「話者が望ましいと見なす事態が実現した(実現確定を含む)にもかかわらず、その事態を活かせないことへの不満や同情」、或いは「実現した事態の活用に向けての意志や希望」を表す。そのため、逆接と順接の複文構造を必須とする。それに対して、「特意(tèyì)」と「모처림(mocheoreom)」は単文構造にも複文構造にも用いられる。また、「せっかく」が冠せられた主節は、「まだ実現していない」或いは「ついに実現しなかった」事態であるが、「特意(tèyì)」と「모처림(mocheoreom)」は「すでに実現した事態」にも問題なく使用されることが明らかになった。

1. 研究背景および研究目的

日本語の「せっかく」は、その特異性により日本語学習者には非常に難解な副詞である。その難易度を高めている要因の一つが、「せっかく」の意味に相当する語が、他言語になかなかないためであると考えられる。まず中国語の場合、「せっかく」はその意味・用法における特殊性によりさまざまな言葉に置き換えられている。「特意(tèyì)」や「难得(nándé)」、「好(不)容易(hǎo(bù)róngyì)」、「煞费苦心(shàfèikǔxīn)」などがその代表的な訳語である。また、「せっかく」に対応する韓国語にも「모처림(mocheoreom)」や「일부러(ilbureo)」、「일껏(ilkkeot)」、「기왕(에)(giwang(e))」などの複数の語が挙げられる。つまり、日本語では「せっかく」という一語で表せる意味が、中国語や韓国語においてはその使用場面や文脈によってさまざまな訳語を必要としているのである。

本発表では、副詞「せっかく」の本質を追究する実証研究の一環として、上記の訳語のうち中国語の「特意(tèyì)」と韓国語の「모처림(mocheoreom)」を比較対象とし、その意味と用法を考察する。

2. 先行研究および本発表の立場

「せっかく」の先行研究において、渡辺(1980)は後の研究に多大な影響を与えていると言えよう。渡辺は「せっかく」を「見越しの評価」を表す副詞として位置づけ、下記の(1)~(3)の順に、「評価の副詞『せっかく』が、次第次第にパートナーを併呑して行く様(1980〔2002:329〕)」を記述している。

- (1) せっかく花が咲いたのに、散ってしまった。(渡辺 1980〔2002:321〕)
- (2) せっかくの花が散ってしまった。(渡辺 1980〔2002:321〕)
- (3) せっかくだった(な)のに、(花が)散ってしまった。(発表者)

しかし、渡辺よりも早く河原崎(1976)では、「せっかくの」や「せっかくだが」、「せっかくだから」が単なる圧縮表現でないと指摘されている。「相手のご厚意がない場合」、圧縮される用法は成り立たないと述べている。要するに、下記のような用例の場合、(4)の下線部の「せっかくの日曜日ですが」を「せっかくですが～」に、(5)の「せっかくのボーナスだが」を「せっかくだが～」に圧縮してしまうと、本来の文の叙述内容とは異なるものになってしまうため、両者は変換できないとしている。

- (4) せっかくの日曜日ですが、金がなくてどこへも行けません。

(4)'せっかくですが、金がなくてどこへも行けません。(発表者)

(5) せっかくのボーナスだが、住宅ローンに半分以上もっていかれる。

(5)'せっかくだが、住宅ローンに半分以上もっていかれる。(発表者) (1976:85、下線、囲み線は筆者)

ただし、「せっかく」の本質における位置づけに関する具体的な言及はなされていないのである。これに対して、工藤(1982)では「せっかく」を「条件－接続の叙法」の下位区分である「譲歩～理由(1982〔2016:13〕)」の副詞であるとし、「評価性をあわせもった条件的叙法副詞(1997〔2016:76〕)」であると位置づけている。

本発表では、「せっかく」の位置づけにおいては工藤(1982、1997)の位置づけに従い、また、意味・用法においては、後述のとおり独自の分類および考察を展開する。

3. 研究方法

本発表では、「せっかく」と中国語の「特意(tèyì)」、韓国語の「모처럼(mocheoreom)」の意味と用法の特徴を、その実証研究を通して考察する。データ収集において「せっかく」は、国立国語研究所の『現代日本語書き言葉均衡コーパス(BCCWJ)』を活用し用例を抽出した。具体的には、「せっかく」の用例採集において検索キーを語彙素「折角」に設定して 3331 例を採集した。そこから目視により、翻訳作品 133 例、近代の使用例 17 例、非副詞の例 6 例の計 156 例を除いた 3175 例を研究対象とする。次の表 1 は、「せっかく」における全用例の分布である。

表 1 「せっかく」の用法ごとの用例分布

対象外		研究対象	
翻訳作品	133	副詞用法	2092
近代	17	連体用法	795
非副詞	6	擬似述語用法	288
小計 1	156	小計 2	3175
総計		3331	

表 2 「特意(tèyì)」の全用例分布

対象外		研究対象	
翻訳作品	1134	特意	711
重複例	2	特意地	10
別品詞	1	特意的(地)	11
小計 1	1137	小計 2	732
総計		1869	

中国語の「特意(tèyì)」においては、北京語言大学漢語コーパス「BCC 語料庫」を活用しデータを抽出した。具体的には、ジャンルを「文学」に限定し、検索対象語の前後の文字数をそれぞれ最も長い 30 文字に設定して 1869 例を収集した。その中から目視により翻訳作品の 1581 例、重複例 2 例、別品詞の例 1 例を除いた 732 例を研究対象とする。上記の表 2 は、「特意(tèyì)」の全用例の分布をまとめたものである。

表 3 「모처럼(mocheoreom)」の使用形式および年代別用例分布

使用形式 \ 年代	対象外				研究対象					総計
	1910	1920	1930	1940	1950	1960	1970	1980	1990	
모처럼	5	8	22	21	65	188	365	570	2299	3543
모처럼의	0	0	1	5	10	54	62	101	306	539
모처럼이(의)	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
모처럼인데	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
모처럼이니까	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
小計	5	8	23	26	75	242	429	672	2606	4086
総計	62				4024					4086

そして、韓国語の「모처럼(mocheoreom)」に関しては、韓国の言語情報研究院の『Yeonse20世紀韓国語コーパス』を用いて用例を採集した。具体的には、検索単位を「어절/원시(語節)」に、検索語をそれぞれ「모처럼(mocheoreom)」、「모처럼의(mocheoreomui)」、「모처럼이(mocheoreomi)」、「모처럼인데(mocheoreominde)」、「모처럼이지만(mocheoreomijiman)」、「모처럼이니까(mocheoreominikka)」とし、検索範囲を「앞뒤 50 어절(前後 50 語節)」にして検索を実施した。さらに、本発表が現代語における研究であるため、抽出した 4086 例から 1940 年代以前の 62 例を除いた 4024 例を研究対象(表 3)とした。

なお、本発表における日本語訳はすべて発表者によるものである。

4. 分析

以下では、まず「せっかく」の構文的特徴と「評価性をあわせもった条件的叙法副詞(工藤 1997)」という特異性を、許(2020)の用法分類に則って考察する。次に中国語の「特意(tèyì)」、さらには韓国語の「모처럼(mocheoreom)」の意味と用法を「せっかく」と比較・分析する。つまり、中国語および韓国語の訳語との比較を通じて、日本語の「せっかく」の諸特徴を明らかにする。

本節では「せっかく」の分類基準を定め、その基準に則って「特意(tèyì)」と「모처럼(mocheoreom)」の意味・用法における特徴を見ていく。

4.1 「せっかく」について

許(2020)では「せっかく」の用法分類を次のとおり行った(例文は作例)。

〈副詞用法〉: 下記の(6)(7)は連用修飾関係、(8)(9)は連体修飾関係の例文

- (6) せっかくここまで調査したのに、途中でやめてしまった。
- (7) せっかくここまで調査したのだから、もう少し続けたほうがいいんじゃないか。
- (8) せっかくここまでやってきた調査も途中でやめてしまった。
- (9) せっかくここまでやってきた調査をもう少し続けたほうがいいんじゃないか。

〈連体用法〉: 「せっかくの+N(名詞およびそれに準ずる形式)」

- (10) せっかくの調査も途中でやめてしまった。
- (11) せっかくの調査をもう少し続けたほうがいいんじゃないか。

〈擬似述語用法〉: 主語が取れない述語であるという認識からの命名

- (12) せっかくだが、途中でやめてしまった。
- (13) せっかくだから、もう少し続けたほうがいいんじゃないか。

「せっかく」の従属節の述語は、主として動詞述語文を用いるが、名詞述語文や形容詞・形容動詞述語文をとる用例も一部見られた。また、主節のモダリティにおいて、従属節と主節の関係が「のに」と共起する逆接関係の場合、主文末のモダリティは命令や勧誘、禁止などとは共起できず、叙述と疑問に限るという制限を受ける。しかし、順接関係においては、命令や依頼、勧誘、禁止のモダリティとの親和性が高いことが明らかになった。さらに、現代日本語における用法では、複文構造にのみ用いられる。意味的には、「話者が望ましいと見なす事態が実現した(実現確定を含む)にもかかわらず、その事態を活かせなかったことへの不満や同情、或いは実現した事態の活用に向けての意志や希望」を表す。

4.2 中国語の「特意(tèyì)」について

中国語を母語とする日本語学習者の場合、未習の言葉を調べる際に手軽なスマートフォン翻訳アプリを用いる傾向がある。次の3種類の辞書アプリは、比較的使用頻度が高いと言えよう。

下記の表4は、各種翻訳アプリによる「せっかく」の対訳をまとめたものである。表からも分かるように、冒頭で列挙した「特意(tèyì)」や「难得(nándé)」、「好(不)容易(hǎo(bù)róngyì)」、「煞费苦心(shàfèikǔxīn)」はすべての辞書で取りあげている。

表4 各種翻訳アプリによる「せっかく」の訳語の整理

MOJi 辞書	特意	好(不)容易	煞费苦心	难得	珍贵
沪江小D 词典	特意	好(不)容易	煞费苦心	难得	珍贵
有道翻译官	特意	好不容易	煞费苦心	难得	—
日本語対訳 (「せっかく」を除く)	わざわざ	やっと/ 苦労して	苦労/苦心して	得がたい	貴重な

では、本発表の研究対象の一つである「特意(tèyì)」はどのような語なのか。管見の限り「特意(tèyì)」の先行研究は見当たらず、ここでは中国語の代表的な国語辞典である『現代汉语词典 第7版』の記述に言及する。しかし、残念ながらここに取り上げられている例文のどちらにも逆接や順接のような条件関係は認められず、そのため「せっかく」ではなく「わざわざ」がよりふさわしいと思われる用例である。

『現代汉语词典 第7版』(副)p.1282

特地:这块衣料是他~托人从上海买来送给你的。

(この生地は彼がわざわざ人に頼んで上海から買ってきて君にあげるものだ。)

4.3 韓国語の「모처럼(mocheoreom)」について

韓国語の場合、「모처럼(mocheoreom)」における先行研究は非常に乏しく、本発表の調査によると呉(2011)のみである。しかし、呉(2011)では「せっかく」と「모처럼(mocheoreom)」、「일껏(ilkkeot)」のそれぞれの特性を述べているにとどまっておらず、本発表の考察対象の一つである「모처럼(mocheoreom)」に関して言えば、連体用法の「모처럼의(mocheoreomui)」には一切言及されていないのである。

次の表5、「せっかく」と「모처럼(mocheoreom)」の使用形式を構文構造と接続関係の観点からまとめたものである。韓国語の場合、〈副詞用法〉や〈擬似述語用法〉において、逆接関係を表す「모처럼(mocheoreom)~(이)지만([i]jiman)」や「모처럼이지만(mocheoreomijiman)」のような形式は見られなかった。しかし、逆接と順接のどちらにも用いられる「모처럼(mocheoreom)~는데/인데(nde/inde)」や「모처럼인데(mocheoreominde)」に関してはその使用が認められた。ただし、〈擬似述語用法〉の場合、「せっかくだが」のような逆接関係にも使用可能な「모처럼인데(mocheoreominde)」や、「せっかくだから」に該当する「모처럼이니까(mocheoreominikka)」のような形式は、ほぼ SNS サイトにおける日本の漫画・アニメ関連の話題に限定されており、一般には許容されていないのが現状である。

表5 「せっかく」と「모처럼(mocheoreom)」の使用形式

用法	副詞用法	連体用法	擬似述語用法
せっかく	せっかく~のに/のだから、~ せっかく~N 助詞~	せっかくの N 助詞~	せっかくだが、~ せっかくだから、~
모처럼 (mocheoreom)	모처럼~V.(単文) 모처럼~(이)지만, ~(逆接)× 모처럼~는데/인데, ~(逆・順接) 모처럼~(이)니까, ~(順接) 모처럼~는/은 N 助詞~(単・複文)	모처럼의 N~	모처럼이지만, ~(逆接)× 모처럼인데, ~(逆・順接) 모처럼이니까, ~(順接)

上述のように、本発表では「모처림(mocheoreom)」の先行研究の乏しさから、中国語と同様に辞典の記述を再考し「せっかく」との関係性を検討する。

本節では、国立国語院の『韓国語—日本語学習辞典』における「せっかく」と「わざわざ」の韓国語の訳語について言及しておく。

以下の表6からも分かるように、ここで「わざわざ」も調査対象に加えたのは、「모처림(mocheoreom)」が、「せっかく」と「わざわざ」の両副詞の対訳になっているためである。「せっかく」が「いろいろの困難を排して事をするさま。無理をして。苦勞して。わざわざ。(『デジタル大辞泉』)」と解釈されるため、中国語や韓国語の対訳に上述のような複数の訳語があてがわれるのは避けられないのだろう。しかし、このような訳語が日本語学習者の「せっかく」と「わざわざ」の使い分けをさらに困難にしているのも否めないのだろう。

表6 「せっかく」と「わざわざ」の韓国語対訳

『韓国語—日本語学習辞典』					
韓国語 対訳	せっかく	모처림 (mocheoreom)	기껏 (gikkeot)	기왕 2(giwang) 기왕에(giwange)	일껏 (ilkkeot)
	わざわざ	모처림 (mocheoreom)	일부러 (ilbureo)	구태여 (gutaeyeo)	—

また、以下は「모처림(mocheoreom)」の記述が最も詳細な『延世現代韓国語辞典』における語釈である。

- ① 아주 오래간만에. (とても久しぶりに。)
- ② 버르고 별려서 처음으로 힘들게. (思い切って初めて苦勞して)
- ③ [명사처럼 써서] 오래간만. ([名詞的に用いて] 久しぶり) (日本語訳は発表者)

5. 考察

5.1 意味における二つの事態と、その意味を支える構文構造

前述の4.1節で言及したとおり、「せっかく」は、「話者が望ましいと見なす事態が実現した(実現確定を含む)にもかかわらず、その事態を活かせないことへの不満や同情」、或いは「実現した事態の活用に向けての意志や希望」を表す。

このような、「話者が望ましいと見なす事態」と、「その事態を活かせないことへの不満や同情、或いは活用に向けての意志や希望を望む事態」という、二つの事態が不可欠である「せっかく」は必然的に複文構造を求める。これに対して、「特意(tèyì)」と「모처림(mocheoreom)」は、どちらも上述のような意味の特徴や構文的構造を必須としないと考えられる。これは、次の(14)の a~c の用例からも容易に見て取れる。

(14) a* せっかく 彼に会うために名古屋まで行った。 → 「行ったのに/のだから」が必要

a' せっかく 彼に会うために名古屋まで行ったのに、会わずにそのまま帰って来てしまった。

b 她特意去了一趟名古屋。 c 지윤이가 모처림 나고야까지 찾아와주었다.

5.2 逆接と順接の関係およびその表現形式

「せっかく」の場合、歴史的に「逆接関係が先行し、順接は逆接から派生(林:2016)」した用法である。そのため、逆接関係を表す「のに/ても/が/け(れ)ど(も)/ながら/ものの」など、さまざまな接続詞との共起形式が見られた。それに対して、順接は「(も)のだから/(の)なら/し」と限られている。

しかし、中国語の「特意(tèyì)」は「特意/特意地/特意的(地)」の3つの形式とも、(15)のように逆接関係を表す接続詞が出現していないが文脈から読み取れる例や、(16)の「既然~理应」という明確な形式をもって表す用例であった。

(15) “人家特意为你办了酒席！四盘四碗一火锅，大面子事情，难道好意思不领情？”（沈从文『丈夫』）

（人がせっかく君のために酒宴を開いたのだ。4品の料理に4種類のスープに加え火鍋まで、大きな体面を保ててくれているのに知らん顔をするつもり？）【逆接】

(16) 按理来说，今天他们既然特意来参观竞渡，理应早点从其他的门进去找个优先的地位看竞渡，（徐兴业『金瓯缺』）（本来ならば、せっかく今日カヌー競技を見に来るのなら、早めに他の門から入ってよく見える場所を確保すべきだよ。）【順接】

一方で、韓国語の「모처럼(mocheoreom)」は前掲の表5のとおり、逆接専用の有標形式である「모처럼(mocheoreom)~(이)지만([i]jiman)」や「모처럼이지만(mocheoreomijiman)」の用例は見当たらなかった。「모처럼(mocheoreom)~는데/인데(nde/inde)」や「모처럼인데(mocheoreominde)」は、逆接関係を表し得るのであって、逆接専用の形式ではないのである。

それに対して、順接は「모처럼~(이)니까(mocheoreom~[i]nikka)」や「모처럼이니까(mocheoreominikka)」という専用の形式がある。そのうえ、上述の「모처럼(mocheoreom)~는데/인데(nde/inde)」や「모처럼인데(mocheoreominde)」をもって順接関係を表すことも可能であるのだ。

これは、逆接関係が先行する日本語に対して、韓国語は「話者が望ましいと見なす事態の積極的な活用」に重きが置かれ、順接関係が先行している表れではなかろうか。

5.3 連体用法の被修飾名詞の特異性

「せっかく」と中国語の「特意(tèyì)」は、日常の個別の事態に頻繁に用いられているが、韓国語の「모처럼(mocheoreom)」は「국정감사(国政監査)」や「경제혁명(經濟革命)」のような政治や経済関連を含め硬い話題との親和性が比較的高いと考えられる。

また、〈連体用法〉の「모처럼의(mocheoreomui)N」の場合、具体物名詞より事柄名詞との共起に偏る傾向を見せている。「せっかくの」には、「食べ物、飲み物、お金、服、靴、毛布、車」などの具体物を修飾する用例も多数出現しているが、「모처럼의(mocheoreomui)」は「음식, 음료(食べ物、飲み物)」など限られた具体物名詞のみ高い使用頻度を見せていた。

その代わりに、「나들이/구경(お出かけ/見物)」や「계획/플랜(計画/プラン)」、「행사(イベント・行事)」、「여행(旅行・旅)」、「방문(訪問)」などの事柄を表す名詞を修飾する傾向が見られた。

さらに、日本語では(17a)(17c)のように「せっかく撮った写真」も「せっかくの写真」も極めて自然である。しかし、韓国語の場合「せっかく撮った写真」に相当する(17b)は安定性が高いが、「せっかくの写真」に当たる(17d)は不自然さが拭い切れないのである。要するに、「せっかく撮った写真」が「せっかくの」写真」となって、「撮る」という動詞が吸収されてしまうと瞬く間に安定性が失われていくのである。

このように、「せっかく」は「写真」などの具体名詞との親和性が高いが、「모처럼(mocheoreom)」は事柄名詞との親和性が高いと言えよう。すなわち、「모처럼(mocheoreom)」の〈連体用法〉は現段階においても変遷が進行している用法であるかもしれない。

(17) a せっかく撮った写真^を、消さないでよ。

c せっかくの写真^を消さないでよ。

b 모처럼 찍은 사진^을 삭제하지 마.

d? 모처럼의 사진^을 사진을 삭제하지 마.

なお、中国語の「特意(tèyì)」には〈連体用法〉が見当たらなかった。

5.4 累加を表す接続詞「また」との共起性

中国語の「特意(tèyì)」は、累加を表す「还[還](hái)」(64例)や「又(yòu)」(24例)の修飾を受ける用例が一定数見られた。以下の(22)は「还」、(23)は「又」が用いられた用例である。

(18) 同时，他们有便宜而并不假的东西，还特意的给他留着。他们知道“爱”是会生长的东西（老舍『贫血集』）

【特意的→特意地】

(19) 翌日，牛月清去老关庙商场的糕点坊去定购寿糕，又特意让师傅用奶油浇制了恭贺汪老太太七十大寿的字样（贾平凹『废都』）

上記のような現象は日本語や韓国語には見られなかった。「またせっかくここまで来たのに」の場合、「せっかく」を修飾しているのではなく、「また、せっかくここまで来たのに」と前の文章をつなげるための純粋な接続詞になっているに過ぎない。

韓国語においては、「또 모처럼 왔는데」も日本語同様「또, 모처럼 왔는데」と接続詞の場合は共起可能であるが、修飾関係は成り立たないのである。「価値ある事態」の表現である「모처럼 (mocheoreom)」を累加によって迷惑の意味合いを帯びてくる「또(to)」が修飾することは矛盾しているのである。

6. まとめと今後の課題

本発表では、中国語の「特意(tèyì)」、韓国語の「모처럼(mocheoreom)」の意味と用法を主軸に、「せっかく」との関係性を考察してきた。

今後は、評価性や意志性に関する考察を深めるとともに、研究対象を「难得(nándé)」、「好(不)容易(hǎo(bù)róngyì)」、「일부러(ilbureo)」などにさらに広げて考察も深めていきたい。

参考文献

吳珠熙(2002)「『せっかく』の意味と用法—『前提』との関わりを中心に—」『日本語と日本文学』(35)、15-30、筑波大学国語国文学会/林禎映(2016)「副詞『せっかく』の史的変遷」『国語と国文学』93-8、東京大学国語国文学会、53-68/河原崎幹夫(1976)「副詞の導入の具体的研究 2『せっかく』(付『わざわざ』)」『日本語学校論集』3、79-90/許燕(2020)「現代日本語における副詞『せっかく』の意味・機能をめぐって」『桜美林論考.言語文化研究』11、73-93/許燕(2021)「現代日本語における『せっかく』の意味と用法」桜美林大学『人文学研究』1、57-71/工藤浩(1982)「叙法副詞の意味と機能—その記述方法をもとめて—」国立国語研究所『研究報告集3』〔再録:工藤浩(2016)『副詞と文』ひつじ書房、3-57〕/工藤浩(1997)「評価成分をめぐって」川端善明・仁田義雄編『日本語文法 体系と方法』〔再録:工藤浩(2016)『副詞と文』ひつじ書房、59-80〕/渡辺実(1980)「見越しの評価『せっかく』をめぐって—国語学から言語学へ—」『月刊言語』9-2〔再録:渡辺実(2002)『国語意味論』塙書房、317-332〕/渡辺実(2001)『さすが日本語!』筑摩書房/荀恩东・饶高琦・谢佳莉等(2015)「现代汉语词汇历时检索系统的建设与应用[J]」『中文信息学报』29(3)、169-176/荀恩东・饶高琦・肖晓悦・臧娇娇(2016)「大数据背景下 BCC 语料库的研制[J]」『语料库语言学』2016(1)

辞書・辞典類

松村明編(2012)『デジタル大辞泉〈第二版〉』三省堂〔2001年4月『大辞泉』初版を元に公開 初版:松村明編(1995)『大辞泉』三省堂〕<https://kotobank.jp/word/%E6%8A%98%E8%A7%92-547918> 2020/08/20 閲覧)/中国社会科学院语言研究所词典编辑室(2016)『现代汉语词典(第7版)』商务印书馆/연세대학교 언어정보연구원 <연세현대한국어사전>(延世大学校言語情報研究院『延世現代韓国語辞典』)(<https://ilis.yonsei.ac.kr/dic/> 2021/10/28 閲覧)/국립국어원 <한국어-일본어 학습사전>(国立国語院『韓国語-日本語学習辞典』)(<https://krdict.korean.go.kr/jpn> 2021/10/28 閲覧)

言語資料一覧

国立国語研究所「現代日本語書き言葉均衡コーパス BCCWJ」(コア・非コアを含む)中納言 2.4.5 データバージョン 2021.03/北京语言大学汉语语料库「BCC 语料库」<http://bcc.blcu.edu.cn/>(「文学」に限定、2022/3/8 検索)/언어정보연구원「연세 말뭉치 용례 검색 시스템」<연세 20세기 한국어 말뭉치>(言語情報研究院 Yeonse コーパス用例検索システム「Yeonse20世紀韓国語コーパス」)(<https://ilis.yonsei.ac.kr/corpus/#/search/TW> 2021/11/12 検索)

謝辞

本発表は、JST 次世代研究者 挑戦的研究プログラム JPMJSP2125 の財政支援を受けたものです。この場を借りて、「東海国立大学機構 融合フロンティア 次世代研究事業」に御礼申し上げます。